

いざ災害が起こったとき とるべき行動は？



気象情報、避難勧告などの発令情報にも気を付けて、落ち着いて行動してください

- ◎頭を保護し、慌てずに机の下など**安全な場所**に
- ◎**火を消し、ガスの元栓**を閉め、玄関や窓を開け、**出入り口の確保**を
- ◎津波警報などが発表されたときは、**津波避難ビル**などの**高台に避難**を
- ◎建物の倒壊、火災の恐れがあるときは、**学校の校庭や公園など広い場所に避難**を

地震が起こったら

- ◎テレビなどで**最新の情報に注意**を
- ◎土砂災害の危険がある、浸水の危険がある、子どもや高齢者などがいるときは、**避難所や安全な場所への早期避難**を
- ◎夜間や急激な降雨などのときは、避難所への移動(＝水平避難)ではなく、**自宅や近隣の2階以上への避難(＝垂直避難)の検討**も

風水害が起こったら

- ◎テレビなどで**最新の情報に注意**を
- ◎土砂災害の危険がある、浸水の危険がある、子どもや高齢者などがいるときは、**避難所や安全な場所への早期避難**を
- ◎夜間や急激な降雨などのときは、避難所への移動(＝水平避難)ではなく、**自宅や近隣の2階以上への避難(＝垂直避難)の検討**も

訓練のお知らせ
6月23日(木)10時15分頃、防災行政無線などで緊急地震速報(訓練)を送ります



ためらわず、早めの避難が大切です

始良市との境にある吉野町平松地区に住んでいます。隣の竜ヶ水地区、花倉地区で、平成5年の8・6水害(写真)で多くの犠牲者が出て以降、特に災害に備えるようになりました。平松地区は崖下に住む一人暮らしの高齢者ばかりなので、大雨警報が出たときなどは、各世帯に連絡し、避難を呼びかけています。地区内の住民は年に数回、この自主避難や、市からの避難勧告で、市街地の親戚宅や福祉館に避難しています。



吉野町平松町内会長 四元 義治さん

市内には他にも多くの危険箇所がありますが、「被害がなければ幸い」と思って、ためらわず、油断することなく早めの避難を心掛けていただきたいと思います。

～みんなで作る 災害に強いまち～

避難行動要支援者の支援をお願いします

避難行動要支援者とは、災害のとき、自力で避難することが難しい要介護者や重度の障害者などのことです。

自主防災組織、町内会など、地域の皆さんは、避難行動要支援者への支援などについて、ご理解とご協力をお願いします。



安全を確保しましょう 地震に対する家の安全対策



地震でのけがで最も多い原因は家具の転倒によるものなんです



① 寝室には家具を置かない

寝ているときに地震に襲われると危険です。また、子どもや高齢者がいる部屋にもできるだけ家具は置かないようにしましょう。



うちの家具はどうだったかな。点検してみようね

② 家具は倒れないように

家具を突っ張り棒などで固定するなどして、倒れないようにしましょう。

③ 出入り口や通路に物を置かない

玄関にゴルフバックなどを置くと、いざというときに出入り口をふさいでしまう可能性があります。



開き扉のロック

転倒防止器具

突っ張り棒

ガラスの飛散防止フィルム

壁に寄りかかるよう板などを差し込む



リュックは近くに



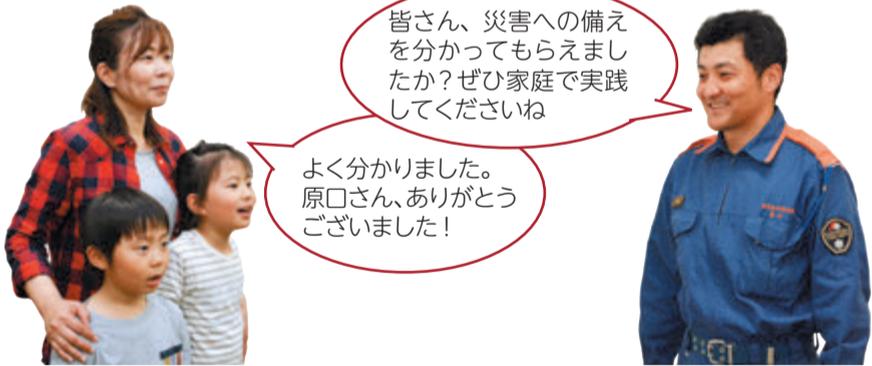
住宅の耐震診断・耐震改修工事などへの補助制度 ～安全安心住宅ストック支援事業

◆補助対象

- ①昭和56年5月31日以前に着工された戸建住宅の耐震診断、耐震改修工事と、これらと併せて行うリフォーム
- ②子育て・高齢者などの世帯が行う耐震性のある住宅(昭和56年6月以降に着工)のリフォーム

◆受付期間 ①現在受付中 ②7月4日(月)～8日(金)

◆補助率など詳しくは市ホームページか建築指導課216-1358へ



皆さん、災害への備えを分かちてもらえたか?ぜひ家庭で実践してくださいね

よく分かりました。原口さん、ありがとうございました!

市民とともに

鹿児島市長 森博幸



■梅雨時期の防災対策

4月に発生した熊本地震から1カ月半が経過しました。今なお多くの方が避難生活を余儀なくされています。私は先日、熊本市や宇土市などで、被災地の状況をつぶさに見てまいりました。倒壊した家屋や避難所の様子を見ると、地震被害の甚大さ、そして被災者の方々の苦悩や今後の不安など、現場の状況に胸がつまる思いでした。被災地の一日も早い復興と生活再建に向け、本市としてもできる限りの支援を行っていきたく思います。

今年も梅雨の時期となりました。本市では、台風や豪雨、桜島の大規模噴火に対して、かねてから防災対策に全力で取り組んでいます。今月号は防災特集を掲載しました。家庭や職場でも、危険箇所や避難経路などを今一度確認していただきたいと思います。

「災害は忘れたころにやってくる」といつ起こるか分からない災害に対して、市民一人一人が日頃から高い防災意識を持ちながら、ご近所で声を掛け合い、共に助け合う環境づくりを行っていくことが大切です。市民・地域・行政が手を取り合って、安心安全なまちづくりをさらに進めてまいりましょう。

■青梅の時事

今年も青梅の甘酸っぱい香りに初夏の訪れを感じる季節となりました。梅酒や梅ジャムなどいろいろと利用される青梅ですが、そもそも梅の歴史は古く、万葉の時代には、花といえは梅の花を指し、多くの歌に詠まれています。また、日本最古の医薬書とされる「医心方(984年)」には、梅干についての記述があるなど、日本人にとって梅は最も身近な花木だと思えます。

これからの季節、蒸し暑さで食欲もなくなり、疲れやすくなってきましたが、梅には、疲労回復に加え、殺菌や老化予防などにも効果があるようです。ことわざに「梅はその日の難逃れ」とあるように、昔から梅の効用も語られています。今月の「食育レシピ」(9面)では、「青梅ジャム」の作り方を紹介しています。梅入りに合わせて、爽やかな酸味を楽しめる梅ジャム作りにチャレンジしてみませんか。